第1回千葉市新基本計画審議会第2部会におけるご意見（第1部会、第2部会の双方に共通するもの）

第1部会：資料3

No.	原案の該当箇所				意見の概要	委員	両部会に共通する意見
1	第3章	2　まちづくりの方向性	まちづくりを支える力	P28	行政が全部やるのではなく、主役は市民であり、教育や生涯学習などで、高齢者やこどもなど市民の力を養成して伸ばしていかなければならない。行政は、その仕組みや場所を提供する役割である。「まちづくりの底力」の内容を、教育、高齢者やこどもの力の活用という観点から明確にした方がいい。	黒岩委員	○
2	第3章 第4章	・3 実現すべきまちの個性 ・2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る		・P30 ・P61～62	障害者についての認識がまだまだ不足していると感じているので、例えば30ページの「みんなの力で支えあうまち」の中の「こどもと高齢者などの多世代交流により…」というところに、障害者との交流に係る文言を加える等、検討してほしい。	高山委員	○
3	第4章	全体			市民は全人格的に存在しており、何か特定のことにとらわれて行動を起こすわけではないので、活動を連携するために、それをコーディネイトする機能を行政が担うことを明確に打ち出すべきである。	海宝副部会長	○
4	第4章	全体			例えば、「2-1 健康で活力に満ちた社会を創る」や「2-3 ともに支えあう地域福祉社会を創る」の内容は、子育て支援や高齢者のことにも関連するものであるのに、それぞれの分野に関連することしか書かれていない。具体的な計画においても、分野ごとに細かく書いてあっても全体として分かりにくい計画になってしまうので、他の分野に横断的に関わる内容については、つながりが分かるように工夫して記載すべきである。	鍋嶋委員	○
5	第4章	全体			「2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る」では、現状と課題の内容に比べて、施策の展開について具体的な書き込みが少ないように感じる。特に、施策の展開において、具体的な施設名等が記載されているところとそうでないところのバラつきがあるように見え、本当は書くべきところに書かれていない。現状と課題に対応する具体的な施策をもう少し書きこんでほしい。	鍋嶋委員	○
6	第4章	全体			事前提出意見No.1について、親が自分を産み、育て、そして自分が働き、結婚しこどもを育てて今に至るまで、経済的土台が常にあったと認識しており、このような意見を出させていただいた。総論部会ではこのことについて議論があったのか、なかったのか。	細谷委員	○
7	第4章	全体			この計画で一番大事なのは「まちづくりの底力」だが、自分の今までの地域との関わり方を考えると期待できるか疑問である。実態を調査して、この底力にどれくらい期待できるかを線引きして書き込むことが必要ではないか。 また、基本計画には書きこまないとしたら、次の段階ではどのようにするのか。	松本委員	○
12	第4章	・2-1 健康で活力に満ちた社会を創る ・4-1 市民の安全・安心を守る	・2-1-2 医療体制の充実 ・4-1-3 消防・救急体制の充実	・P54 ・P79	救急医療について、「4-1-3 消防・救急体制の充実」だけで触れられているところ、「2-1-2 医療体制の充実」にも加えてもいいのではないか。	大澤委員	○